

2021年国民平和大行進・神奈川県入り！ 核廃絶・核禁条約署名&批准求め川崎行進

5月6日に東京をスタートした2021年国民平和大行進（東京→広島コース）は、5月7日に神奈川県入りしました。しかしコロナ感染の拡大が止まらないなかで昨年と同様に例年のような取り組みは行えず、数々の制約を受けての行動になります。

例年の神奈川県内初日の行動は、東京都大田区の大田川沿いにある六郷土手公園に到着した東京平和行進の仲間と大人数で合流し、シュプレヒコールや歌声にのって共に六郷橋を渡って川崎区内公園での集会和JR川崎駅周辺での行進をしてきました。

今年は、東京都と神奈川県の両平和行進



稲毛公園での集会に初参加したダンプ支部の南須原さん



左から鉄道本部の小野さん、ダンプ支部の南須原さん等

代表団のみで、午後3時に六郷土手公園で行進を引き継ぎ、六郷橋を行進することなく川崎区内の稲毛公園において、神奈川の仲間だけで神奈川平和行進の出発集会を開催しました。

あいにく集会を開催するころから、小雨が降りだす天候となりましたが、多くの仲間が参加しました。建交労神奈川県本部からは、鉄道本部の小野さん、ダンプ支部の南須原さん、神奈川県南支部の大島書記長と赤羽が参加しました。

集会後の行進では、シュプレヒコールや歌声は自粛せざるを得ず、隊列を先導する宣伝カーからのアナウンスだけで“核兵器廃絶”“核兵器禁止条約の日本政府による署名・批准”などを市民にアピールして例年より短縮したコースでの平和行進を行いました。

神奈川県内での平和行進は、例年では川崎市内を数日かけて行進後、横浜市内はじめ県内各市町村での行進へと引き継ぎできましたが、今年は川崎市内での行動は5月7日のみのため、午前中から川崎市の各区内でも集会や行進に取り組みました。本日8日からは、横浜市内をはじめ県内の各市町村を分散しながら行進し、5月19日に静岡県



宣伝カー運行は県南支部の大島書記長

内閣総理大臣 殿

唯一の戦争被爆国 日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名

いま世界では、核兵器禁止条約の発効から核兵器廃絶へとすすもう、という声があがっています。多くの国ぐにが被爆者の声に耳を傾け、「核兵器による安全」ではなく、「核兵器のない世界による安全」を選択し、核兵器禁止条約を支持し、参加しつづけます。

唯一の戦争被爆国である日本政府は、核兵器廃絶の先頭に立たなければなりません。

国内の世論調査でも、日本が核兵器禁止条約に参加すべきとの声は7割を超えています。日本政府がこの被爆者と国民の声に誠実に応えることを訴えます。

私は、日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求めます。

名 前	住 所	募 金

この署名は、2020年10月29日、被爆者をはじめ各界・各層の代表126氏のおよびかけによりスタートしました。日本政府に提出します。ご記入いただいた個人情報は、この要請目的以外には使用しません。

【取扱団体】

連絡先：署名事務局（原水爆禁止日本協議会）
〒113-8464 東京都文京区湯島 2-4-4
電話：03-5842-6031